

ジャパクラシックベンチプレス選手権大会、激戦を制したのは？

令和6年1月19日・20日、大分県別府市でジャパクラシックベンチプレス選手権大会が、開催された。300人を超える選手が大分県別府市で熱戦を繰り広げた。軽く挙げて肘が下がっていないと赤判定が多かった。新ルールがしばらく選手を悩ましそうだ。

激戦の階級の中でも女子52kg級は、いつも人数が多く、いつも出場選手が多い激戦区である。今大会では、昨年は57kg級だった岩本幸子選手が52kg級に出場。101.5kgを挙げて一般、M1、M2の日本新記録で優勝した。新ルールでも安定した試技だった。2位は、昨年優勝の伊賀梓選手が90kg、3位は高橋杏佳選手85kgだった。

男子83kg級は、児玉大紀選手と鈴木佑輔選手が同じ階級で出場。児玉選手が220kgで優勝。231kgの日本新記録に挑戦したが、惜しくも挙げ切ることができなかった。2位は、鈴木選手が205kg、石脇匠選手も205kgだったが、体重差で3位となった。

男子105kg級は、昨年優勝の仲村征弥選手が第一試技205kgを成功させ、優勝かと思われたが、第2、第3と失敗で2位。第2試技で205kgを挙げた高橋真一郎選手が体重差で優勝した。河原崎研太選手が202.5kgで3位になった。



岩本幸子選手 52kg 級優勝 101.5kg



女子 52kg 級表彰式



男子 83kg 級表彰式



パラの三浦浩選手 59kg 級 M3 優勝 125kg



宮崎優花選手 47kg 級優勝 85kg

日本新記録は、サブジュニアから M5 の選手までたくさん樹立された。

93kg 級サブジュニア飯塚照元選手 155.5kg、93kg 級ジュニア武田大和選手 197.5kg、
76kg 級ジュニア阪口愛莉選手 106kg、52kg 級一般・M1・M2 岩本幸子選手 101.5kg
59kg 級一般田中玲星選手 171kg、66kg 級 M1 斎藤敬太選手 172.5kg
120kg 超級 M1 淵野茂樹選手 243kg、69kg 級 M2 津金典子選手 92.5kg、
74kg 級 M2 守山哲郎選手 173.5kg、74kg 級 M2 大場隆俊選手 174kg
69kg 級 M3 徳武恵美選手 90kg、120kg 級和田高平選手 200kg
76kg 級 M3・M4 澤千代美選手 78kg、57kg 級 M4 長尾優子選手 56.5kg
93kg 級 M4 飯島修選手 140kg、93kg 級 M4 須山敏博選手 145.5kg
74kg 級 M4 信原英之選手 140kg、59kg 級 M5 三谷幹雄選手 105kg